

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（扱い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

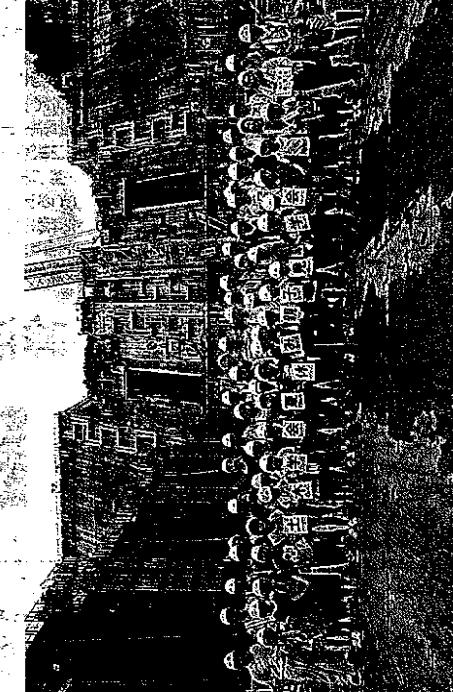
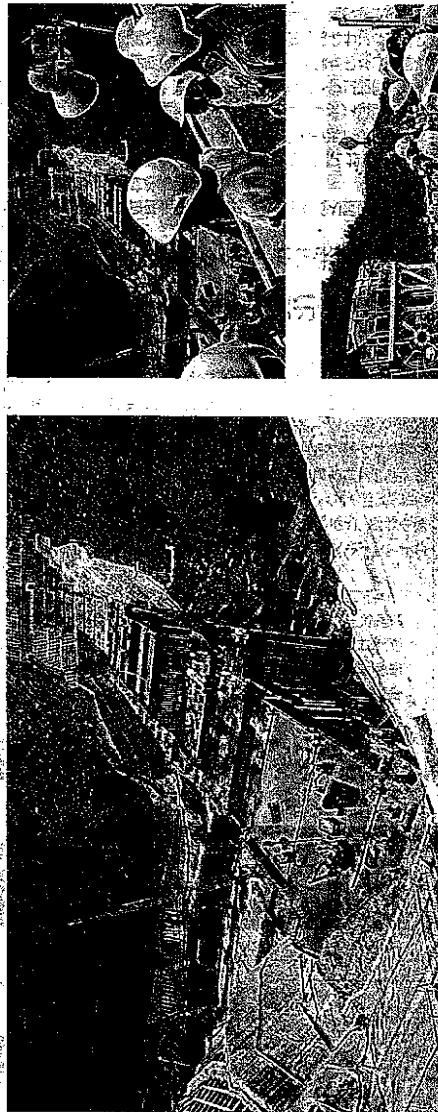
(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No1)	「現場見学可能一覧表」を作成し学校へ配布し計画的に 大学・高専・高校の生徒と一体となった現場見学を開催
1. 実施時期	<ul style="list-style-type: none">・H29年4月からH30年3月を実施期間としています。・H29年度は現在まで5回開催しています。（詳細は別紙）
2. 実施場所	<ul style="list-style-type: none">・日建連会員企業が施工する建設現場を見学しました。（山口県・広島県）
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	<ul style="list-style-type: none">・工業高校、高専、大学生を対象に実施しています。
4. 共催・単独等の開催状況	<ul style="list-style-type: none">・5回開催のうち 3回は日建連主催　　1回は土木学会と共催　　1回は山口県と共に
5. 事業等の内容	<ul style="list-style-type: none">・日建連中国支部で作成した「現場見学受け入れ可能一覧表」を毎年3月に作成し、 中国地区の大学、高専、工業高校に送付することで、学校の行事に組み入れていただき計画的に見学会を開催しています。 また、「現場見学受け入れ可能一覧表」は中国地整のHPにも掲載されています。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	<ul style="list-style-type: none">・普段見ることのできない建設現場を直接見てももらうことにより興味を持ち、魅力を感じ取ってもらう事で、将来我々の業界へ入職し活躍してもらえると期待しています。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度についても同様に実施する計画です。

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

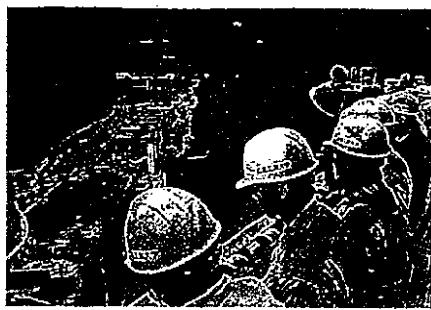
夏休叶親子見學會



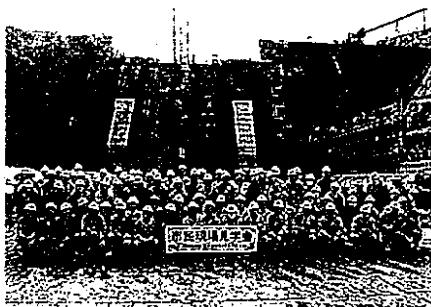
規模の大きさ最先端技術に興味

子供や学生に遊戯場の運営を教えるために(文部省)「長崎市立幼稚園(小学校三歳前組)」は22日、山口県岩国市立幼の新3歳児用遊戯室をつく成田市長崎町に「園舎を保育室を併設した。同成田組は年長、年中とも教諭として20名で、今回の新設室は新規の由から新設の年長以上上の課題22種類から分離して、施設を用ひながら遊びをこなす。大抵が長崎市内の現役の幼稚園の施設を互換して、長崎に貢献する」と。井原社(1社)「長崎遊戯場を令中國に送る(新設開園式開業式)」。

今回の事故は監督官 楠本達也君と山口久郎君
が建設監理の能力を信じて計画者は建設技術研究所
イメージアシスタント 岩谷君 機器者は清水義綱君 五年
の人生・運営に向うた政治家・井林千葉君・ナリキ
り君の一人。土木学会もこの二名は清水川河川
は小中学校を対象に実習用橋、別荘は實質工事コン
サルタントは建設監修の間でクリークカミ橋南
図面コンケーブルを算出、堤防長300m、堤
防監理の能力を信して体積4万m³総貯水容量
してから引込組を造成する工事費100万円、工事費半
ねでいる。中国地方整備局 26年3月1日~昭和6年
度と労働貢献度で横道字月30日。新潟県では継
る中國地区建設監修課より返し表を有効監修者
日本建設監修会員であることを示す。新潟県
日本建設監修会員であることを示す。新潟県
可能な現場状況を参考し中西地区の大河高
いし中西地区の大河高其目的に平野タク井井
終着駅に受け入れた後、平野タク井井
を配給し、駅構内の車両を半径1km以内に配置
するに取り入れた場合は、毎月30日までに
毎月監修参加を申請する。
する。監修料は6000円で行なわれる。
平野タク井井監修事の概要は6000円で行なわれる。



見学会のものよう



記念撮影

平瀬ダム建設現場で見学会

広工大生 約90人 ものづくりの魅力実感
—日建連中国支部—

日本建設業連合会中国支部（福岡信也支部長）は17日、山口県錦川総合開発事業町の「錦川総合開発事業」（施工＝清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキヨム）の現場に広島工業大学の環境工学科2年生約90人を招いて現地見学会を開催した。現場を訪れた学生たちはスケールの大端技術に触れ、ものづくりの魅力ややりがいなどを肌で感じていた。

はじめに日建連中国支

部の奥山正彦事務局長が「現地を知りてもらいたい」と趣旨説明した。

統一して、発注者で山口県錦川総合開発事務所の村田和彦所長が「現場で

ダムの大きさを実感してほしい。土木工事は大きなものだけではなく、道路、

水道、下水道などの日常生活を守るのが建設業でもある。進路の目標を失うこ

となく、しがらみ生活に励んでほしい。近い将来、われわれと一緒に同じ現地で仕事をできればと思う」と期待を述べた。

また、日建連本部の小池副常務執行役が「15年

前から現場を見て理解を深めるため、100万人を目標にスタートした市民見学会は3年で達成し、今年は300万人

を達成した。現場を通じて建設工事や建設産業の重要性を理解してもらえた。

次に、錦川総合開発事務所の職員から事業概要や工事の進捗状況などについて説明を受けたあと、3班に分かれて、骨材製造設備、セメントサイロなどを見学し、最後に完成すれば水没する河床部まで移動して記念撮影した。

市民見学会は直結する工事が建設業の使命で生活を

「よくつ始めた」とある。わかった。

次に、錦川総合開発事務所の職員から事業概要や工事の進捗状況などについて説明を受けたあと、3班に分かれて、骨

材製造設備、セメントサイロなどを見学し、最後に完成すれば水没する河

床部まで移動して記念撮影した。

同工事の発注者は山口県、設計者は建設技術研

究所、河川名は錦川水系

錦川、型式は重力式コンクリートダム、堤高73m、

堤頂長300m、堤体積

34万m³、総貯水容量29

50万m³、工期は平成26

年3月25日～32年6月30

日。錦川流域は、繰り返し甚大な台風被害を受けているほか、洪水被害も

発生しているため、山口

県はこうした被害防止を目的に平瀬ダムを計画した。

26年3月に建設工事を開始し、27年2月からダム本体工事の掘削に着手、約1年で39万tにおよぶ土を掘削した。骨材

製造設備やコンクリートの諸設備を整備し、

28年2月にコンクリート打設、30年夏頃まで実施し、33年度にダム事業が完了する予定。10月末現在の堤体コンクリート打設状況は高さ48m、打設量20万5000m³、進捗率61.7%と順調に工事が進行している。

広島工高生招き見学会

平瀬ダム建設工事現場で

—日建連中国支部—

【周南】日本建設業連合会中国支部(福留信也支部長)は20日、山口県岩国市錦町の「錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事」(施工=清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキ JV)の現場に広島工業高等学校的土木科2年生40人を招いて現場見学を開催した。

はじめに日建連の奥山正彦事務局長が「ダムは完成するとその大部分は水没してしまうため、建設中の今しか見ることができない場所が多く、少な体験になると思う。」



市民現場見学会

参加した生徒たち

（A）

またスケールが大きいだけでも、さまざまな技術を結集して建設している。こういった現場を知つてもううことで興味を持ち、将来現場で活躍してもらえるよう願いを込めて見学会を開催している。よく見て、聞いて最終的な進路の決定に役立てほしい。現場は大変危険な場所もある。

（B）

（C）

（D）

（E）

（F）

（G）

（H）

（I）

（J）

（K）

（L）

（M）

（N）

（O）

（P）

（Q）

（R）

（S）

（T）

（U）

（V）

（W）

（X）

（Y）

（Z）

中建日報 H29·10·27

連支部
中国建日

広島みらい創生高校など2現場

徳山高専 生徒40人招き見学会



見学した徳山高専生徒約40人

日本建設業連合会中国支部(福留信也支部長)は21日、広島市中区の「新しいタイプの高等学校新築工事(建物名称・広島みらい創生高校)、施工(鐵高組)と山口県若国市錦町の錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事、施工(清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキ)」の建築と土木の2現場で徳山高専生徒約40人を招いて現場見学会を開催した。

新しいタイプの高等学校新築工事の現場事務所では、はじめに日建連の奥山正彦事務局長が「普段見ることができない建

設中の現場を知つてもらおう」と興味を持ち、将

うじとで建設現場で活躍するこ

とを目的に見学会を開いて

いる。よく見て聞いて

最終的な進路の決定に役

立てほしい」と趣旨説

明した。

続いて、現場を統括す

る出口幹雄所長や工事担

当者らが現場内を案内し

ながら、工事概要や進捗

状況、校舎棟で採用して

いるPCaPC工法や特

徴的な構造について説明

し、生徒たちは熱心に耳を

傾けていた。

同工事の発注者は広島

市、設計者は久米・あい

設計JV、施設は校舎棟

RC造(PCaPC工法)

4階塔屋1階建床面積

1万2741・69m²、屋

内運動場棟RC造一部S

造3階建延床面積320

9・20m²など、総延床面

積1万5962・09m²。

工期は平成28年12月20日から30年5月31日。

午後からは錦川総合開

発事業平瀬ダム建設工事

の現場に移動し、スケ

ルの大きな土木工事現場

で最先端技術に触れ、建

設業の魅力を感じた。

同工事の発注者は山口

県、設計者は建設技術研

究所、河川名は錦川水系

錦川、型式は重力式コン

クリートダム、堤高73

m、堤頂長300m、堤

体積34万m³、総貯水容量

2950万m³、工期は平

成26年3月25日から32年

6月30日。錦川流域は、

繰り返し甚大な台風被害

を受けているほか、洪水

被害も発生しているた

め、山口県はこのたび被

害防止を目的に平瀬ダム

を計画した。昨年2月か

ら堤体コンクリート打設

が進められており、順調

に工事が進んでいる。

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

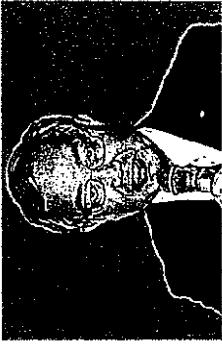
事業等の名称 (No2)	大学生向け「出前講座」の開催
1. 実施時期	
・平成29年10月17日(火) 13:15~14:45。	
2. 実施場所	
・広島工業大学	
3. 対象者(参加見込又は参加者数)	
・環境土木工学科1・2年生 100名が参加	
4. 共催・単独等の開催状況	
・日建連主催	
5. 事業等の内容	
・夢や希望をもって若者の入職を増やしていく取り組みの一環として、日建連で作成した「シビルエンジニアの仕事」と題したパワーポイントにより、土木の魅力や、発注者、設計者、施工者の役割について説明し、正しく理解してもらえるよう講義を行いました。また、トンネルやダムなど土木を代表する工事について施工事例を説明し将来の職業選択の判断材料になるよう期待しているところです。	
6. 期待される効果(実施結果:効果)	
・講座後、生徒からも土木技術者の仕事を知る貴重な機会だった。また、土木技術者の資格取得に前向きな意見など土木を代表する工事の事例にも大きく興味を持ったとの感想も頂いた。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	
・平成30年度についても同様に実施する計画です。	

注1: 提出資料は電子データとしてください。

注2: パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

ビルエンジニアの役割 大生に出席講座 =日建連中国支部=

日本建設業連合会中国支部（福留信也支部長）は17日、在島市佐伯区の広島工業大学で「前職連携「シビルエンジニア（木材技術者）の仕事」を開いた。環境工木学科の



おしゃれかる
福留支那

1・2年生約100人が土木の魅力やゼネコンの仕事、役割について学んだ。この出前講座は、日建連本部や支部が大学などに直接出向いて学生にゼネコンの仕事や役割を説明し、正しく理解してもらうに夢や希望をもつて若者の入職を増やしていく取り組みの一環。

3・最近では就職を控えた3年生だけではなく、早い段階で職業選択の判断材料になるもう一つ、1年生にも対象を広げている。

開講のあたりで、福留支部長は「毎年のように全国各地で災害が発生する中、建設業界は復旧に向けて活躍をしている。国民の生活を安全安心、快適にするのが土木。」との土木技術は自然災害から人々の暮らしをするとともに、世界中の社会基盤をつくっていく。国内には多くのビルプロジェクトが控えおり、今後は皆さんが携わるかもしれない。本日を繋ぎに建設業の魅力を感じてもらい、少しでも多くの中学生が建設業界に就職し、自分の力を試したいと思ってくれることを期待したい」と述べた。

講座に入るごと、日建連が製作した「シビルエンジニア（土木技術者）の仕事」と題したナレーション付きのVR（ボイント）を壁に、ゼネコンの仕事や土木技術者の1日の仕事内容、職場での役割などを分かりやすく伝えた。

統一して、同支部総務企画委員の二階堂慎博委員



前講座のようす

長、紀澤委員、木山孝昌
委員からトンネル・ダムなどの施工事例を説明。委員らは、官公庁、民間、未だ建築などの業種に従事してお壇壇を知ることが重要。人との田舎なコミュニケーションを少しも失ってはいけない」と話していた。

講座終了後、学生らは土木技術者の仕事を知る貴重な機会だった。「資格取得に向けて一層頑張ろうと思う」「トンネル施工に興味が湧いた」となどの感想を語り、就職に向けて前向きな姿勢を見せていた。

中建日報 H29·10·24

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（扱い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No3)	建設技術フォーラム 2017in 広島に学生を来場させる。
<p>1. 実施時期 ・平成29年11月10日(火)～11日開催</p> <p>2. 実施場所 ・広島中央公園</p> <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数) ・子供、学生、社会人、一般、建設関係</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 ・主催は建設フォーラム実行委員会(実行委員長：日建連支部長) ・協賛は日建連他14団体</p> <p>5. 事業等の内容 ・中国地整、中国地方自治体、建設関連団体からの最新の技術など一堂に集め、上記対象者向けに紹介し、建設業界や建設の技術をアピールしました。また、日建連では現場見学会などと抱き合わせ工業高校の生徒を会場に誘導しました。</p> <p>6. 期待される効果(実施結果：効果) ・建設業の最新の技術を多くの人に見て、知って頂く事で、建設業を正しく知つてもらい、良いイメージを持って建設業への入職を期待するところです。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他 ・平成30年度についても同様に実施する計画です。</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No4)	「広報誌」による建設業界のイメージアップ (けんせつ小町の活躍する現場紹介・けんせつ小町フォーラムの開催)
1. 実施時期	<ul style="list-style-type: none">・広報誌は3月中旬に発刊する。・けんせつ小町フォーラム 2017in 広島 (H30年2月23日開催予定)
2. 実施場所	<ul style="list-style-type: none">・けんせつ小町フォーラム 2017in 広島 : ANA クラウンズホテル
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	<ul style="list-style-type: none">・日建連会員企業に所属するけんせつ小町 80名とその上司 30名程度
4. 共催・単独等の開催状況	<ul style="list-style-type: none">・日建連単独
5. 事業等の内容	<ul style="list-style-type: none">・広報誌は支部行事のほか、建設現場で活躍する女性技術者の特集として7名の技術者を掲載します。（添付資料はH28年度のものです。）・けんせつ小町フォーラムは女性技術者、営業職、事務職とその上司約110名に参加してもらい「働く女性の悩みを解消・けんせつ小町が笑顔で働き続けるために」をテーマに、基調講演やパネルディスカッション、女性交流会を計画しています。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	<ul style="list-style-type: none">・広報誌により建設業の魅力を発信することでイメージアップを図る。・女性の活躍を推進するための活動の一環として実施することで、けんせつ小町を応援していく。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度についても、形を変えて実施する計画です。

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

